

## ～ IT技能習得促進インターンシップ参加ルール～

社会人としてマナーを守り、責任感を持って参加しましょう。

インターンシップ生は、お客様でもアルバイトでもありません。短期間であっても、企業で働く一社会人としての常識と責任感が求められます。与えられた仕事をこなすだけでなく、挨拶、身だしなみ、掃除など基本的なことを意識し、しっかりとした事前準備、心構えを持ってインターンシップに臨みましょう。

### ① 身だしなみを整えて出社しましょう。

期間中の服装に関しては、受入先の担当者と確認をし、業務に見合った服装で出社しましょう。指定がない場合は、必ずスーツを着用し、翌日以降の服装について確認しましょう。

### ② 時間をしっかり守りましょう。

決められた時間や納期を守るのは、社会人として、企業として当然のマナーです。万が一遅れる場合や、病欠の場合は、事前に電話で連絡をするようにしましょう。期限通りの仕事ができるように心がけましょう。



### ③ 就業上のルールを確認しましょう。

企業ではセキュリティ対策や、業務管理のため、就業規則や業務ルールを定めています。使い勝手が悪いからといった理由で、担当者の承認を得ないで、貸与されたPCをカスタマイズする、個人のフリーメールアドレスやオンラインストレージを利用してデータをやり取りすることはやめましょう。

守秘義務をしっかりと守りましょう。



インターンシップ中に得た情報は、あなたにとって些細なことに思えても、企業にとっては外部に漏えいしてはならない情報である危険性や、社内でもまだ公にしてはならない情報もあります。

社内から指定された資料やコピー以外の持ち出しや、インターン中に得た情報をSNSやブログなどで公開を絶対にしないでください。意図的ではなくても企業に多大な損害を与えるケースもあり、損害賠償の対象や、刑事罰に問われる可能性もあります。

自分には、企業の中にある情報の価値を判断する能力、勝手に利用する権利は絶対にできないということを意識しましょう。

成果物の権利について企業と誓約書を結びましょう。

インターンシップ中に製作したプログラムなどについての著作権等が発生する可能性があります。これかからの就職活動において実績として提出する場合や、卒業論文などで使用する必要がある場合が考えられます。著作権等の帰属、これから想定される利用用途を考慮した誓約書を結びましょう。

万が一に備えて、「インターンシップ等の障害保険」に加入を推奨しています。

本インターンシップでは、万が一に備えて、「インターンシップ等の障害保険」をかけておりますが、大学等で紹介されているインターンシップ向け保険の加入を推奨しております。詳しくは、各学校のキャリアセンターへお問い合わせください。

## ～インターンシップの流れ～

